

室蘭市の現状

COG2021
2021.12.4

室蘭市企画財政部企画課 川口

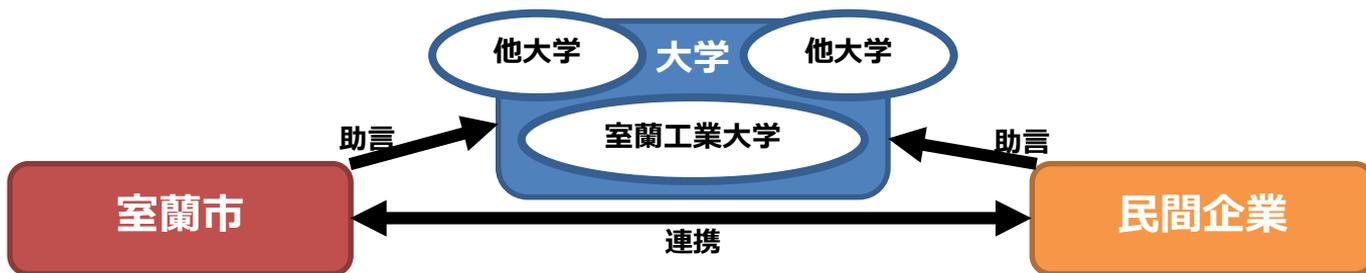
【連携体制賞】 Teamバードラン

- 室蘭工業大学の講義で学生が発案したアイデア
- <課題> 学生の卒業などで発展しにくい



室蘭市と室蘭工業大学との連携

- 学生ワークショップを開催
- 当初は学生が室蘭に集まっての開催を予定していた
⇒緊急事態宣言で中止。
リモート開催で開催
- 室蘭工業大学、秋田公立美術大学、
岐阜市立女子短期大学（参加者16名）



室蘭市と室蘭工業大学との連携

- 大学院の講義でもCOG応募を目標に取り組んでいる

データ分析、デザイン思考を学ぶための
プロセスとしても賛同いただき、
講義のレポートとして取り入れて
いただいている



【協賛団体賞】 MTI企画部



- 室蘭工業大学での「相棒型地域PBL（課題解決型学習）」での取り組み
- 企業へのインターンシップ科目であり、企業とともに課題の解決策の検討に取り組む

室蘭工業大学の大学生が作る
大学生と大学近隣住民向け
バス待ちストレス軽減システム

① アイデアのポイント

「乗客のバス停での待ち時間を減らす」アイデア！
「乗りたい時間・目的地を設定する」だけで「アプリ」が「GPSを付けたバスがバス停に近づいたとき」に「通知してくれる」ため屋根のないバス停で待ち時間が減る！
→ 待ち時間の有効活用が出来る！
(特に冬の北海道において雪の中ではなく、暖かい屋内でバスを待つことが可能)

② 理由・データの裏付け

バスの待ち環境の改善をすることでバス満足度の向上が期待！！

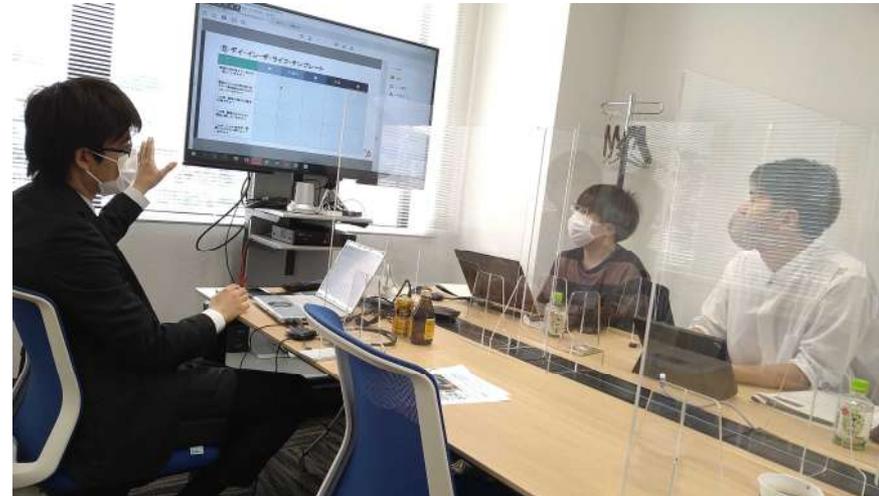
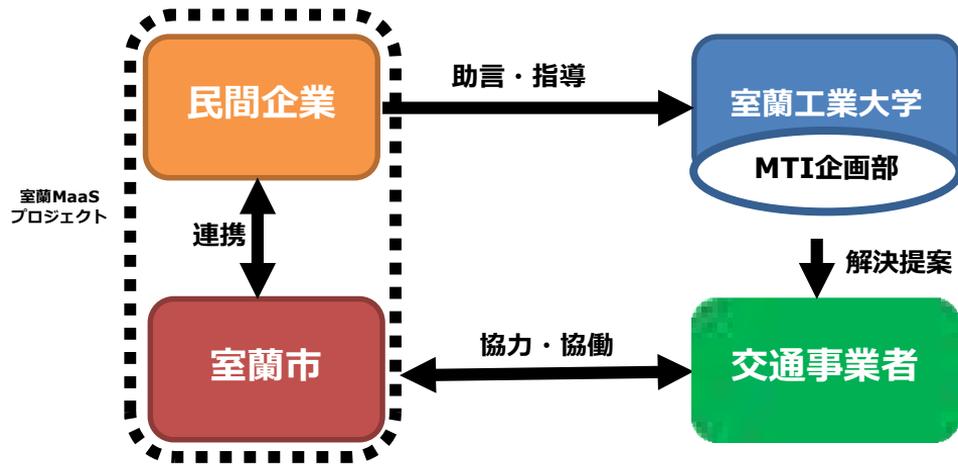
バスの利用者低減に歯止めを！

③ アイデア実現までの流れ

2021年の3月までにアプリの仕様を決定する	→	2021年9月までに大学の前期の学外インターンという授業を通じ、情報系科学学生にアプリ開発を行ってもらう
2021年10月中に後期の学外インターンという授業を通じ、大学内での実証を行い、結果をまとめる	→	2021年11月以降、サイネージ設置のため大学内クラウドファンディングの方法を検討・実施 アプリ仕様の見直し・アイデアの改善

MTI企画部の展開

- 昨年のアイデアを引き継ぎ、PBLにて継続した講義とすることで、実装するまでの仕組みとして取り組んでいる
- 大学とパナソニックITS株式会社の取り組みに、室蘭市が連携



MTI企画部の展開

- 室蘭MaaSプロジェクトと連携し、検討を進める
- 市内バス会社（道南バス）へもアイデア説明を実施。
意見交換を行った。

室蘭MaaSプロジェクト いってきマース

誰もが気持ち良く“行ってきます！”と言える、移動に困らない快適な街を目指して…
「いってきマース」にはそんな意味が込められています。

令和3年度 経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」採択事業
(受託者 公益財団法人室蘭テクノセンター)



室蘭市でのCOG

**地域の大学、企業、団体とともに連携し、
データ活用やデザイン思考による
地域課題解決の“きっかけ”として、
チャレンジしていきたい！**